

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月13日
【四半期会計期間】	第100期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	新潟交通株式会社
【英訳名】	Niigata kotsu Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 丈二
【本店の所在の場所】	新潟市中央区万代一丁目6番1号
【電話番号】	(025)246-6335
【事務連絡者氏名】	総務部長 今城 哲
【最寄りの連絡場所】	新潟市中央区万代一丁目6番1号
【電話番号】	(025)246-6335
【事務連絡者氏名】	総務部長 今城 哲
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第99期 第1四半期連結 累計期間	第100期 第1四半期連結 累計期間	第99期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	4,912,428	4,995,600	20,807,247
経常利益又は経常損失(千円)	55,023	6,977	650,442
四半期純損失()又は当期純利益(千円)	118,073	554,016	190,472
四半期包括利益又は包括利益(千円)	118,091	556,105	899,996
純資産額(千円)	9,521,834	10,056,200	10,612,365
総資産額(千円)	63,672,368	59,997,887	62,816,941
1株当たり四半期純損失金額()又は1株 当たり当期純利益金額(円)	3.10	14.41	4.97
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純 利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	15.0	16.8	16.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第99期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第99期第1四半期連結累計期間及び第100期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成24年5月23日開催の取締役会において、当社の100%子会社である株式会社万代開発を吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

1. 合併の目的

新潟市や万代シテイ周辺における商業環境が著しく変化しつつあることに加え、今後、万代シテイ事業を当社のコア事業として位置付け、推進する必要があることと、同事業に経営資源を投下するためには、合併により新潟交通単体として、安定した利益の計上及び資金繰りを構築する必要があることなどから同社を吸収合併することとしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併契約承認取締役会 平成24年5月23日

契約締結日 平成24年5月23日

株主総会開催日 平成24年6月27日

合併予定日(効力発生日) 平成24年10月1日

(注)本合併は、(株)万代開発においては会社法第784条第1項に規定する略式合併であるため、株主総会による吸収合併契約の承認を得ずに行うものであります。

(2) 合併方式

当社を存続会社として(株)万代開発を吸収合併いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社は、(株)万代開発の全株式を所有しておりますので、本合併による新株式の発行及び資本金の増額並びに合併交付金の支払はありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

(株)万代開発は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行していません。

3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にあったものの、震災からの復興需要を背景とした緩やかな景気回復の動きも見られました。景気の先行きについては、復興需要による回復の動きが確かなものとなることが期待される一方で、欧州政府債務危機等による海外景気の下振れにより、わが国の景気が下押しされるリスクが存在する状況となりました。

こうした事業環境の中、当社グループでは新たに3カ年の「第4次中期経営計画」を策定致しました。中期経営計画の初年度となる平成24年度は、「成長企業への転換」を経営方針とし、グループ全体で増収を達成すべく積極的に事業を展開致しました。グループ一丸となった積極的な事業展開と景気回復効果により、運輸事業・商品販売事業・旅館事業にて、売上高は前年同期を上回り、全事業の合計においても前年同期比増収となりました。売上高の増加に伴い、営業利益・経常利益は前年同期比増益となりましたが、連結子会社にて固定資産譲渡に伴う特別損失を計上したことにより四半期純損失の計上となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の総売上高は4,995,600千円(前年同期比1.7%増)、営業利益は246,936千円(同33.8%増)、経常利益は6,977千円(前年は経常損失55,023千円)、四半期純損失は554,016千円(前年は四半期純損失118,073千円)となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

運輸事業におきましては、乗合バス部門では、「定時性の向上」を目的として新潟市内全路線のダイヤ見直しを行ったほか、「駅すばあと」との提携により、新潟交通のバス路線において出発地から目的地までの所要時間と経路・運賃が携帯電話やスマートフォンから簡単に検索できるようになりました。また行政と連携し、ICカード「りゅうと」ご利用にて新潟駅～古町間を運賃100円（平成24年4月28日～7月1日の土日祝日）でご乗車いただけるサービスを実施し、お客様の利便性向上に努めました。こうした諸施策の効果により、前年同期を上回る運賃収入を得ることができました。

高速バス部門では、東京線にて3列シート車両の増便を行い快適性の向上を図ったほか、運行便限定の期間限定割引キャンペーン（同5月7日～7月1日）を実施し増収に努めた結果、県外線においては前年同期を上回る運賃収入を得ることができました。一方、県内線においては、広域合併や事務効率化による県都との往来減少等を要因とし、前年同期比減収となりました。

貸切バス部門では、組織再編により新潟交通旅行部内に観光バス受注センターを新設し、貸切バスの受注管理を同センターに集中させる体制を構築致しました。観光バス受注センターへの情報一元化に伴い、より効率的な貸切バスの運用が可能となり、貸切バス収入は前年同期比増収となりました。この結果、運輸事業の売上高は2,436,355千円（前年同期比3.9%増）、営業損失187,707千円（前年同期は営業損失231,506千円）となりました。

不動産事業では、新潟市内6会場にて同時開催する音楽イベント「Niigata Rainbow ROCK Market（平成24年4月30日）」へ万代シテイパークをステージ提供したほか、5月には本年度で3回目となる“人と地球のコミュニケーション”をテーマとした「万代シテイアースフェスタ2012（平成24年5月3日～5日）」を開催するなど、各種イベントの開催・誘致により万代シテイの集客力向上に努めました。しかしながら、万代シルバーボウル（平成23年6月30日）及び同駐車場（同8月31日）の営業終了に伴う、賃貸収入・駐車場収入の減少等により、不動産事業の売上高は721,882千円（同3.6%減）、営業利益323,829千円（同5.7%減）となりました。

商品販売事業では、主力の観光土産品販売部門では、東日本大震災の影響を大きく受けた昨年に比べ、県内観光地における集客に回復が見られ、土産品の販売が好調に推移したことから、前年同期比増収となりました。

またコンビニエンス部門においては、積極的な商品展開と種々のキャンペーン効果により、来店客数及び購入単価が増加し、前年同期比増収となりました。

この結果、商品販売事業の売上高は591,580千円（同10.2%増）、営業利益28,921千円（同5.9%増）となりました。

旅館事業では、佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」では、インターネット大手予約サイトとの提携による販売チャネルの拡充が奏功し、同予約サイト経由の宿泊客が増加したことに加え、大手旅行会社主催ツアーの宿泊客が増加したことにより、前年同期比大幅な増収となりました。

新潟市内の「万代シルバーホテル」では、阪急阪神第一ホテルグループへの加盟を行い、宿泊客の増加に努めたほか、農林水産省選定「地産地消の仕事人」の肩書を持つ総料理長が、館内レストランにて地域の食材を活かした料理を提供するなど、魅力あるメニューの構成に努めました。こうした諸施策の効果により、売上高は前年同期比増収となりました。

この結果、旅館事業の売上高は493,897千円（同8.4%増）、営業利益3,540千円（同54.0%増）となりました。

その他事業において、旅行業では、本年5月22日開業の話題の新名所「東京スカイツリー展望デッキとお台場ランチ」コースや、県内の魅力再発見を目的とした「にいがた再発見イングリッシュガーデンと老舗の味」コース等、目的参加型旅行を多数企画し集客力の向上に努めました。また各種学校の修学旅行や、その他教育旅行の受注に注力した結果、前年同期比大幅な増収となりました。航空代理業、広告代理業においても積極的に営業活動を行った結果、売上高は前年同期比増収となりました。一方清掃業では厳しい事業環境の中で推移した結果、前年同期比減収となったことに加えて、人材派遣業である株式会社マンパワーを当社グループから分離（平成24年2月末）したことに伴い、その他事業全体の売上高は751,884千円（同9.0%減）、営業利益78,295千円（同83.1%増）となりました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	38,640,000	38,640,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000 株であります。
計	38,640,000	38,640,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	38,640	-	4,220,800	-	2,872,932

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 192,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 38,091,000	38,091	-
単元未満株式	普通株式 357,000	-	1単元（1,000株） 未満の株式
発行済株式総数	38,640,000	-	-
総株主の議決権	-	38,091	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 （%）
新潟交通株式会社	新潟県新潟市中央区 万代一丁目6番1号	192,000	-	192,000	0.50
計	-	192,000	-	192,000	0.50

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、高志監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,391,963	2,745,371
受取手形及び売掛金	974,892	1,300,759
商品及び製品	169,326	186,832
原材料及び貯蔵品	121,494	114,947
その他	895,418	527,934
貸倒引当金	18,451	19,893
流動資産合計	4,534,643	4,855,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,377,424	13,180,488
土地	41,079,635	37,896,689
その他(純額)	2,432,152	2,696,892
有形固定資産合計	56,889,212	53,774,071
無形固定資産	278,999	272,037
投資その他の資産	1,114,086	1,095,826
固定資産合計	58,282,297	55,141,936
資産合計	62,816,941	59,997,887
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	860,626	992,003
短期借入金	19,789,210	17,560,110
未払法人税等	100,089	23,003
賞与引当金	139,825	90,322
その他	2,818,628	3,250,563
流動負債合計	23,708,378	21,916,002
固定負債		
長期借入金	20,262,171	19,387,209
再評価に係る繰延税金負債	4,979,748	4,978,835
退職給付引当金	317,522	338,477
役員退職慰労引当金	237,428	210,588
その他	2,699,326	3,110,573
固定負債合計	28,496,197	28,025,685
負債合計	52,204,575	49,941,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220,800	4,220,800
資本剰余金	2,946,550	2,946,550
利益剰余金	4,450,191	5,002,544
自己株式	32,577	32,637
株主資本合計	2,684,581	2,132,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,717	9,806
土地再評価差額金	7,935,502	7,933,837
その他の包括利益累計額合計	7,927,784	7,924,031
少数株主持分	-	-
純資産合計	10,612,365	10,056,200
負債純資産合計	62,816,941	59,997,887

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,912,428	4,995,600
売上原価	3,641,878	3,666,421
売上総利益	1,270,550	1,329,178
販売費及び一般管理費	1,086,054	1,082,242
営業利益	184,496	246,936
営業外収益		
受取利息	492	389
受取配当金	3,364	3,509
持分法による投資利益	12,626	2,780
保険解約返戻金	14,138	-
雇用調整助成金	-	8,182
その他	5,944	5,747
営業外収益合計	36,565	20,609
営業外費用		
支払利息	271,941	258,485
その他	4,143	2,083
営業外費用合計	276,085	260,568
経常利益又は経常損失()	55,023	6,977
特別利益		
固定資産売却益	120	901
補助金収入	5,608	5,236
契約外賃貸収入	2,755	-
株式割当益	-	2,579
その他	109	47
特別利益合計	8,593	8,764
特別損失		
固定資産売却損	127	512,225
固定資産除却損	2,470	3,505
退職給付引当金繰入額	7,521	-
その他	1,462	-
特別損失合計	11,581	515,730
税金等調整前四半期純損失()	58,011	499,988
法人税、住民税及び事業税	27,631	14,753
法人税等調整額	32,430	39,275
法人税等合計	60,062	54,028
少数株主損益調整前四半期純損失()	118,073	554,016
四半期純損失()	118,073	554,016

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	118,073	554,016
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	17	2,088
その他の包括利益合計	17	2,088
四半期包括利益	118,091	556,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,091	556,105
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
投資その他の資産	182,051千円	184,254千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	410,466千円	423,340千円
のれんの償却額	228千円	228千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,344,569	749,137	536,691	455,530	4,085,928	826,500	4,912,428	-	4,912,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,052	126,145	12,161	7,980	185,338	167,320	352,658	352,658	-
計	2,383,621	875,282	548,852	463,510	4,271,266	993,820	5,265,086	352,658	4,912,428
セグメント利益又は損失()	231,506	343,495	27,301	2,299	141,589	42,760	184,350	146	184,496

(注)1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、清掃・設備・環境業、広告代理業、人材派遣業、航空代理業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失()の調整額146千円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸事業	不動産事業	商品販売事業	旅館事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,436,355	721,882	591,580	493,897	4,243,715	751,884	4,995,600	-	4,995,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	40,741	121,581	12,577	6,683	181,582	167,294	348,876	348,876	-
計	2,477,096	843,463	604,157	500,580	4,425,297	919,178	5,344,476	348,876	4,995,600
セグメント利益又は損失()	187,707	323,829	28,921	3,540	168,584	78,295	246,879	57	246,936

(注)1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、清掃・設備・環境業、広告代理業、航空代理業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失()の調整額57千円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	3円10銭	14円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	118,073	554,016
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	118,073	554,016
普通株式の期中平均株式数(千株)	38,049	38,447

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月8日

新潟交通株式会社
取締役会 御中

高志監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐々木 隆輔 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 勝海 明人 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 竹田 信一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている新潟交通株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、新潟交通株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBR Lデータ自体は含まれていません。